

(1→3)-β-D グルカン				2233000	
B-D グルカン				担当部署	
				一般	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 検体によっては測定中に非特異的濁りを生じて正しい測定結果が得られない場合がある。 2) セルロース系透析膜による血液透析を受けた患者およびレンチナン等の真菌由来の(1→3)-β-D グルカン製剤の投与を受けた患者の検体は、測定値に正誤差を与える場合があります。 3) 術後、一過性に(1→3)-β-D グルカンが上昇する場合があります。 4) 高濃度のエンドトキシンは測定に正誤差を与える場合があります。			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		該当なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 5 桃シール	ヘパリンナトリウム	3	mL
2	他材料				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体			

	3) 量不足 4) 粘性のある検体 5) 凝固検体								
保管検体の保存期間	保存不可								
検査結果・報告									
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部								
測定時間	当日中								
生物学的基準範囲	0～11 p g /mL EX 一般 208 : 「β-グルカンテスト ワコー添付文書」								
臨床判断値	該当なし								
基準値				単位	pg/mL				
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値				
0	11	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし				
パニック値	高値	該当なし							
	低値	該当なし							
生理的変動要因	特記事項なし								
臨床的意義	β-D-グルカンは、真菌に特徴的な細胞壁を構成している β 配位のグルコピラノースを構成糖とする多糖体で、菌糸型接合菌類(ムコール類など)を除くすべての真菌に共通して認められる。血中 β-D-グルカンは深在性真菌感染症を診断するために実施される。代表的な疾患としてカンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症などがある。								